

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第5回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成30年3月29日(木) 14時00分 開会 14時48分 閉会
開 催 場 所	第1・2議員控室
出 席 者 氏 名	【推進委員】 横山委員、山野寺委員、小寺委員、信太委員、田村委員、村田委員、 青砥委員、水島委員
欠 席 者 氏 名	佐々木委員、土門委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、小室政策主幹、森久保計画担当主査
議 題	1 委嘱状交付 2 美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について 3 美幌版総合戦略に基づく平成30年度事業の予算と指標について 4 今後について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名(報道機関)
会 議 資 料 の 名 称	・美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について ・第2章 美幌版総合戦略(改定案) ・付属資料 アクションプラン(案)(個別施策工程表)
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>定刻になりましたので、平成29年度第5回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。</p> <p>本日は年度末のご多忙な中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は一部委員の交代がございますので、後ほど委嘱状の交付式並びにアクションプランの改訂、並びに平成30年度の事業予算等の関係についてご説明いただく貴重な会議でございます。皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日、田村委員から遅れるとの連絡をいただいておりますが、その内容によっては欠席になるかもしれないとのことです。</p> <p>次に、網走信用金庫の支店長でありました佐々木委員ですが、本日は欠席という報告をいただいております。</p> <p>また、佐々木委員におかれましても、今回の人事異動で網走の本部に異動となり、新たに川上支店長という方が着任されますので、次回4月以降の会議から川上支店長が委員としてこの会議に参加させていただくことになっています。</p> <p>最後に、森林組合の委員として選出されていた前石川専務理事ですが、今回の森林組合の理事会において退任されたということで、新たに小寺組合長が委員として本日から参加する形となっています。</p> <p>本日はまず委嘱状交付式ということで、総務部長から小寺委員へ委嘱状の交付をよろしくお願いいたします。</p> <p>次第1 委嘱状交付</p>
小室政策主幹	<p>皆様ご苦勞様です。</p> <p>ただ今会長のお話がありましたように、森林組合において委員が変更となることから、委嘱状の交付を行いたいと思います。</p> <p>小寺組合長におかれましては、美幌町まちひとしごと創生推進委員会の委員をお引き受けくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>委嘱状の交付につきましては、本来、土谷町長が行う予定でしたが、別の公務がありまして、また、平井副町長においても公務出張により不在となっておりますので、広島総務部長より委嘱状の交付を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、お名前を読み上げますので、お手数ですがその場でご起立願います。</p> <p>小寺敏隆様。</p>
小寺委員	はい。
広島総務部長	<p>小寺敏隆様。美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会委員を委嘱します。任期、平成30年3月29日から平成31年7月26日まで。平成30年3月29日美幌町長土谷耕治。代読でございます。よろしくお願いいたします。</p>
小寺委員	よろしくお願いいたします。
小室政策主幹	<p>今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>以上で委嘱状の交付を終わります。引き続きよろしくお願いいたします。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>それでは、この後は座ったままで進行させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それではまず、ただ今委嘱を受けました小寺委員から一言ご挨拶をいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p>
小寺委員	<p>はい。まだ何もわかりませんが、頑張りますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
横山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>小寺委員におかれましては森林組合からの選出でございますので、美幌もFSC認証材ですとか、コアドライ等で色々林業の関係もございまして、是非そのようなご意見を今後も賜りたいと思ひますので、これからもよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>2番目の美幌版総合戦略アクションプランの改訂についてということで事務局より説明をお願ひいたします。</p> <p>次第2 <u>美幌版総合戦略・アクションプランの改訂について</u></p>
小室政策主幹 (概要説明)	<p>前回の会議において、施策の重要業績評価指標（KPI）の見直しについて協議させていただきましたが、今回、平成30年度の予算をまとめている中で、事業の内容修正や期間の修正、新規事業、更には終了した事業等もありますので、別添の「美幌版総合戦略アクションプランの改訂について」と、「アクションプラン」という資料に基づきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>それでは、この1枚物に書いてあります、(1)のKPIの修正については、前回の会議において協議させていただいたとおりの修正となっております。前回と同じですが、小寺委員が新しく入りましたので、簡単に説明させていただきます。</p> <p>まず、基本戦略1の施策「商工業の振興」の「商店街活性化支援」におけるKPIにつきましては、「店舗リフォームの数」と設定していましたが、平成27、28年度の実績で「58件」となり、当初設定していた「45件」を上回りましたので、上方修正を図りました。</p> <p>設定数値としては、平成28年度までの実績で58店舗ということ踏まえ、平成29年度からの3年間で46件を想定し、31年度までの累計で「104件」と設定しました。</p> <p>続いて、基本戦略4の施策「地域コミュニティの活性化」におきましては、ここでは「住民主体による地域活動件数」を設定しています。</p> <p>こちら、28年度までの累計実績において、当初設定した「4件」に達しましたので、上方修正を図りました。</p> <p>新しく設定した数値は「16件」で、既に実績として出ている4件を差し引いても、残り3年間、29年度も含めてですけれど「12件」の実績を積み重ねなければならないということで、かなり高い設定数値ではありますが、利用推進をこれまで以上に積極的に進めたいと考えております。</p> <p>次に(2)の個別事業内容等の修正についてでございますが、これは平成30年度予算の取りまとめや、総合戦略、アクションプランの改訂を庁内組織において協議している中で修正した内容です。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>総合戦略本体には影響せず、アクションプランに掲載されている個別事業の修正となります。</p> <p>まず、アクションプランの5ページ、基本戦略1の観光施策に関する分野の事業で「空港交通利便性向上事業」についてです。</p> <p>これは、例年7月中旬から10月中旬までの観光シーズンに合わせ、女満別空港から美幌駅、美幌博物館を經由して、美幌峠まで運行されるバスですが、平成29年度をもって終了となるため、31年度まで伸びていた事業期間の矢印を短縮して、29年度までとしました。</p> <p>ただ、つい先日なのですが、関係機関から継続の要望があり、再度検討をしたいとお聞きしておりますので、また何か変更がありましたら皆様に報告をしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>次にアクションプラン8ページです。基本戦略1の商工業に関する分野の事業で「がんばる商店街応援事業」についてです。</p> <p>これは27年度から始まった店舗リフォームを行う際の助成事業で、当初は29年度までの3年間としていましたが、好評であることや、商工会議所からの要望等もありましたので、継続が決定されたということとなります。従いまして、事業期間の矢印を29年度までになっていたものを31年度まで伸ばしました。</p> <p>次ですが、新規事業の掲載となります。</p> <p>アクションプラン10ページ、基本戦略2の移住関係の事業となります。</p> <p>移住関係については、議会からも質問が多く、関心が高い分野となっているところもあり、検討を進めてきたところです。</p> <p>追加する1つの名称は「移住二地域居住就労トータルサポート事業」ということで、事業内容を掲載していますが、「地方での暮らしや生き方を求めている人に対し、それぞれの求めるライフスタイルに合った本町での暮らし、就労などを提供することで、移住者や就労人口の増加を目指す」としています。</p> <p>以前から、移住、その中でも特に若者の移住を推進するには、仕事が必要であると考えていまして、商工会議所の総会でも議論されたとお聞きしていますが、それも踏まえまして、これまでも北海道と連携して移住と仕事をセットにした体験ツアーなどを実施していました。</p> <p>28年度と29年度と2カ年で実施してきた中で、それなりの実績と仕組みを把握してきましたが、実施については北海道の選定によるため、手を挙げるのですが、美幌町が確実に実施できるかどうかは不透明なところでした。</p> <p>そのため、それを独立して実施できるような仕組みを考えて取り組みたいと考えています。</p> <p>このアクションプランには、平成30年度実施ということで事業期間の矢印を伸ばしています。しかし、現状では予算計上しておらず、実施する場合は補正予算を組むこととなりますが、当町単独でということではなく、また、単費だけでということも考えておりませんので、地域間連携によって何町村かでやりたいということが1つと、地方創生交付金を使いながら行いたいと考えておりますので、確実にこれも実施に辿り着けるかどうかはわかりませんが、そのように実施できるような方向で動いていきたいと考えております。</p> <p>そして、この事業内容の肝心な部分である仕事の求人については、ここにおられる産業界の皆様からの協力が必要となってきますので、まだまだ内容が固まっておりませんが、今後この委員会にかけて精査を図っていきたいと思っております。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>特に商工会議所様には色々な企業の求人情報等の提供をお願いしたいと考えております。</p> <p>また、農協様ですとか森林組合様だとかの団体にもご協力の呼びかけもあるかとは思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>続いて、次も新規事業の部分であります、こちら移住関係の事業となります。</p> <p>「関係人口創出事業」というもので、事業内容としては、「本町に多様に関わる者を「関係人口」と位置づけ、本町に居住していなくても地域と継続的なつながりを持つための機会、きっかけを創出することで、交流人口の増加及び地域活性化を目指す」としています。</p> <p>「関係人口」という言葉は初めて聞くとお思ひますが、この言葉は美幌町にも来たことがあります、明治大学の小田切教授が提唱した新しい人口の考え方で、定住やその場所に実際に足を運ばなくても、関心とか関与がある人たちのことを指しており、最近出てきたばかりの考え方です。</p> <p>一番わかり易く説明をすると、ふるさと納税の寄付者です。この方々はその地域に関心や愛着があつて、寄付という関与を以て、その地域を応援している人たちという風に考えていただければお思ひます。</p> <p>今回この新しい事業では、まさにそのふるさと納税の寄付者を対象とした事業で、実際にこちらに来てもらひ、ふるさと納税の謝礼品を作っている事業者のもとを訪問するツアーを企画しています。</p> <p>それにより、地域に関心を持っていただき、今後の寄付や継続的な関係を築くことを目的としており、更に行けば、関係人口から交流人口、交流人口から二地域居住あるいは定住に結び付けていこうということでもあります。</p> <p>これにつきましては、平成30年度に新規で国が関係人口に関する交付金制度を創設してござりまして、それに北海道が手を挙げるにあつて、連携する市町村を募り、美幌町も手を挙げたというものになっております。</p> <p>議会においても以前からふるさと納税に関する質問が出ていたこともあり、そうしたツアーを実施したいと担当者が考えていたこともあつて、かなり急ではありましたが、手を挙げさせていただきました。</p> <p>今のところの情報では全道で7市町村が手を挙げているとのことで、今後詳細を詰めていき、実施につなげていく予定です。</p> <p>ツアー内容については、会長であります商工会議所の横山専務にご協力をいただき、まずはモデル事業として進めて行きたいと思っておりますので、今後内容等が詰まりましたら皆様にお知らせしたいと思ひます。</p> <p>次に、⑤のアクションプラン。14ページにも記載されております、基本戦略3の子育て関係の事業で、「エンゼルサポート120事業」についてです。</p> <p>これは、乳幼児のいる世帯に対し、おむつを捨てられるよう有料ごみ袋を配布する事業でしたが、今年の1月からおむつの無料収集を開始しましたので、エンゼルサポート120事業は終了しました。</p> <p>この新しいシステムでは、単に乳幼児のいる世帯だけでなく、高齢者世帯や障がい者のいる世帯から出されるおむつも対象とされますので、サービス自体は拡大しています。</p> <p>アクションプランにおきましては、エンゼルサポート120事業は終了とし、実施の矢印を29年度までとしております。</p> <p>ただ、今までの経過もござりますので、括弧書きで終了した理由を記載しています。</p> <p>次に、アクションプラン15ページ、こちら基本戦略3の子育て関係</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>の事業で、「子育て支援対策事業」についてです。</p> <p>これにつきましては、町立保育所と民間保育所、これはひまわり保育園のことではありますが、そこの保育料の差額分を支援する事業で、平成28年度に多子世帯への支援として、第2子には半額助成を行っていましたが、平成29年度から第2子以降の認可外保育料の全額を助成することとなり、事業対象がより拡大されました。</p> <p>多子世帯への助成は変わっていなかったのですが、表現を改めるのが遅れまして、今回内容修正をさせていただきました。</p> <p>続いて、アクションプラン16ページ。こちら基本戦略3の子育て関係の事業で「子育て世帯禁煙サポート補助事業」についてです。</p> <p>こちらの事業につきましては、以前皆様からも意見をいただきましたが、現在も実施しておりまして、子育て世帯の対象を、平成30年度から「中学生までの子どもを持つ」世帯から拡大し「高校生までの子供を持つ」世帯へと内容を修正いたしました。</p> <p>続いて、1枚物のこちらに戻りまして、(3)文言修正です。</p> <p>基本戦略3の「妊婦一般健康診査費等補助事業」について、名称を「妊婦一般健康診査等交通費補助事業」に変更しました。</p> <p>事業内容に変更や修正等はありません。</p> <p>次に、同じく基本戦略3の「乳幼児等医療費助成制度」につきましては、平成30年8月から中学生の通院費にも助成が拡大されることになりましたので、名称が「子ども医療費助成制度」に変更されます。</p> <p>年度途中での変更のため、アクションプランでは両事業名を併記するようにしています。</p> <p>以上が、総合戦略及びアクションプランの改訂の内容です。</p> <p>今回この内容で問題なければ、本日をもって改訂させていただきます。</p> <p>審議の程よろしくお願ひします。</p> <p>ただ今事務局より説明がございました、総合戦略及びアクションプランの改訂でございますが、皆様から色々ご意見を賜りたいと思っておりますので、何かご意見等ありましたら挙手願ひします。</p> <p>何かございせんか。それでは私から。</p> <p>先ほど事務局からありました、アクションプラン10ページ目の移住並びに関係人口創出の関係ですが、若干話をさせていただくと、商工会議所といたしましても、町に毎年のように移住・定住の関係での要望事項を入れさせていただきました。しかしながら、単に要望するだけでは、会議所は何をするのだという話になったときに会議所自体でもいろいろ審議させていただいて、何ができるかというところを考えたときに、やはり就労の場の確保が商工会議所の役目だと。3月の総会でもそのような説明をさせていただいた経過もあり、年度開けて5月に就労の確保ができる企業のアンケート調査を実施する予定になっておりますので、その集計が出た段階で町にお話しさせていただいて、また、この委員会にもその数字等をお話できるような形にさせていただきたいと思ひます。</p> <p>他何かございせんでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>無ければ、今説明をいただきました部分について改訂させていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、次に3番目の美幌版総合戦略に基づく平成30年度事業の予</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹 （概要説明）	<p>算と指標についてということで事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>次第3 美幌版総合戦略に基づく平成30年度事業の予算と指標について</p> <p>はい。それでは、「美幌版総合戦略に基づく平成30年度事業の予算と指標について」説明させていただきます。</p> <p>A3版のこの資料をご覧ください。</p> <p>この資料については見慣れているかもしれませんが、事業検証のための様式であり、平成30年度の事業が始まるにあたり、事業の目標となる指標を設定してもらい、今後の事業推進に役立てようというものです。</p> <p>ほとんどの事業が29年度と同じ指標ですが、変更事業と新規設定の指標となっている事業がありますので、説明させていただきます。</p> <p>まず、1枚目の基本戦略1の5番目「森林認証材ブランド化推進事業」についてですが、平成28年度は国の交付金を活用し、コアドライ製品の開発という販路開拓を。平成29年度はFSC認証材を活用した新商品開発への支援でブランド化を進めようという内容でした。</p> <p>それを、平成30年度は、新商品開発への支援は行わず、コアドライ製品やFSC認証材の商品を知ってもらい、購入してもらうための販売促進に重点を置きたいということでありますので、「町内外へのPR活動」の回数を指標に設定しました。</p> <p>予算の使い方としては、ノベルティグッズを作成してイベントなどで配布するというので、予算額はそれほど多くはございませんが、28、29年度と新商品開発が続きましたので、平成30年度におきましては積極的な販売促進活動を行いたいということです。</p> <p>次に基本戦略2の資料をご覧ください。</p> <p>2番目の「空き家対策」についてですが、29年度は調査を行ってききましたが、30年度からその調査を基に本格的な対策を始める予定となっております。</p> <p>これからは、まだ時期はわかりませんが、空き家対策のための協議会等を設立して推進を図っていく予定であります。その他にも、地図上で空き家の位置を示すことのシステム化を進めていきます。</p> <p>そのための予算として、241万6千円を計上しており、指標としては「北海道空き家バンク登録棟数」として「5棟」を掲げています。</p> <p>空き家バンクの登録ということでありますが、本当に使える空き家かどうかや、所有者との調整等、個人財産であることから、簡単な作業ではないと思っております。</p> <p>空き家の問題につきましては、皆さまの住居の周りとか、商店街の関係でも空き店舗の部分にも関わってくる課題でありますので、ご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>以上が指標の変更と新規設定のあった事業です。よろしくお願いいたします。</p>
横山会長	<p>それでは、今説明をいただきました部分につきまして、ご意見等賜りたいと思います。何かございませんか。</p>
村田委員	<p>はい。空き家対策についてなのですが、調査した結果、空き家は美幌町に何百件もあったと思うのですが、その内この5軒が使えるそうかどうかということではないのですか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>そういうことではないのですが、おそらく使えるものはたくさんあるの でしょうけれど、手を加えなくても使えるものもあるし、あるいは手を加 えたら使えるというものもあると思います。やはり一軒家を求める方々が 結構いらっしゃるということで、とりあえず空き家の有効活用で所有者に 対してこれからアンケート調査を行うのですが、そういった登録に上手く 誘導するような形で、どれだけの人が登録してくれるかはわかりませんが、 最低でも5軒位は空き家バンクに登録してもらって載せたいと考えてお り、これは掴みで挙げた軒数なのです。</p> <p>なので、調査の結果使えるものはもっとあるのだろうとは思いますが、 空き家バンクに登録してくれる軒数がイコールとはならないと考えており ますので、その中でも最低限5軒を何とか誘導したいと考えているとい うことです。</p> <p>それと、先ほど移住のところで新規事業を2つ追加したのですけれども、 その指標が漏れていましたので、次回に訂正させていただいて、正しいも のを送りたいと思います。大変失礼いたしました。</p>
横山会長	<p>他ございませんか。 次に進めてよろしいでしょうか。</p>
一同	<p>はい。</p>
横山会長	<p>それでは、次は予算の関係をお願いします。</p>
小室政策主幹	<p>はい。それでは30年度の予算について簡単に説明させていただきます。 最後の資料をご覧ください。</p> <p>1枚目に、29年度当初と30年度当初予算を掲載しております。</p> <p>個別事業の予算については、後ほどご自身でご覧いただきたいと思いま すので、1枚目だけ説明させていただきます。</p> <p>まず、右側にある平成30年度当初予算ですが、緑色で色付けされてい る「再計を除いた実総額」をご覧ください。</p> <p>当初予算で、事業費の3億7,728万9千円が総合戦略に掲載されてい る事業の実総額になります。</p> <p>平成29年度と比較しますと、約950万円の減少となっております。</p> <p>その下に、基本戦略ごとの予算総額が記載されていますが、まず、基本 戦略1の産業関係の部分については、平成30年度当初予算が1億248 万8千円で、29年度の当初予算から約6千万円の減少となっております。</p> <p>この6千万円の減少の原因ですが、みらい農業センター事業の中の、「農 業経営者育成」に関する部分で、平成30年度は新規就農者が見込まれな いということから、約1千万円が減少されております。</p> <p>また「観光振興事業」については、29年度は阿寒国立公園満喫プロジ ェクトの関係で、総事業費5千万円を計上しておりましたが、すでに事業 が終了したということで、平成30年度はございませんので、その5千万 円が減少。</p> <p>これら2つを合わせて約6千万円の減少原因となっております。</p> <p>次に、基本戦略2の移住関係の部分につきましては、30年度当初予算 は340万3千円と、29年度から約240万円の増加となっております。 これは先ほど説明しました「空き家対策」に係る予算でございます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>続いて、基本戦略3の子育て関係の部分ですが、平成30年度は1億3,015万4千円が計上されています。</p> <p>29年度当初予算と比べ、約3,600万円の増加となっています。主な原因ですが「医師確保対策」として、約700万円の増加。保育料の負担軽減のための「子育て支援対策事業」で約700万円の増加。</p> <p>最も大きいのが、「乳幼児等医療費助成制度」の対象拡大により約2200万円の増加。</p> <p>合わせて約3,600万円の増加となり、子育て関係の事業は強化されております。</p> <p>最後に、基本戦略4の生活環境やまちづくりに関係する部分ですが、1億4,124万4千円が計上されています。</p> <p>29年度当初予算と比べ、約1,400万円の増加となっております、主な原因が「ワンコインバス乗合タクシー等利用促進補助」において約500万円の増加。</p> <p>「地域おこし協力隊」で約400万円の増加。これは、平成30年度から地域おこし協力隊員が1名採用されるということで、その活動費等を計上したため、増加しています。</p> <p>その他「防災対策事業」として、約500万円の増加となっております、合わせて約1,400万円の増加となっております。</p> <p>以上のように、総合戦略における事業では、子育て関係とまちづくり関係の事業予算が増加されている状況で、その中でも特に子育てに関する支援は手厚くなっている状況となっております。</p> <p>ただそう言いながら、昨年1月から12月までの出生数はかなり落ち込んでいるということで111人の実績となっております。これは過去の数字と比べても最も低い数値となっておりますので、この総合戦略の効果が表れるのは長い年月が必要だと国も認識しておりますが、まだまだ成果が見えるのは先のことだと思っておりますし、子育て支援関係だけを強化しても、簡単には出生数の回復には繋がらないと考えております。</p> <p>先ほど移住のところで説明しましたが、若者を引き込む、あるいは出さない、そのためには仕事が必要といったように、町の総合的な分野での力が必要となると思っておりますので、これからも皆様のご協力をお願いしたいと思っております。以上です。</p>
横山会長	<p>今説明いただきました、平成30年度の当初予算の関係につきまして、何かご意見等がありましたら、賜りたいと思っております。</p>
広島総務部長	<p>私が言うのもおかしいですが、例えばNo.1に「はじめての木づかい事業」がありますが、87万3千円には30年度からの新1年生の入学祝にあげる分が入った金額だと思います。</p> <p>それをこの木づかい事業に入れるかどうか検討した方が良いでしょう。</p> <p>それと、No.3「このまちで出会い結婚し、子どもを生み育てたいという希望をかなえる」の部分で、入っているかわからないけれども、30年度から特定不妊治療の補助制度を作ったのですが、それがここに入っているのかどうかを確認してほしいのと、それから、乳幼児健診の里帰り出産の健診費の助成も30年度から対象を拡大していますので、そこがどうなっているか。</p> <p>あとは最後No.4「住み続けたいと思える生活環境を整える」の地域力を活かした教育環境の整備で、美幌高等学校の教育支援事業の補助金を30</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	<p>年度からスタートさせているので、それらがこの中に入るかどうか検討して、次回の会議で報告を。</p> <p>はい。確認をさせていただいて、次回に皆様へ報告させていただきます。</p>
横山会長	<p>先ほどのアクションプラン10ページの「移住・二地域居住・就労トータルサポート」だとか「関係人口創出事業」についても、30年度の当初予算は付いていないけれども、これは補正で必ず付くという考え方で事業を進めるとい形になるのですか。</p>
小室政策主幹	<p>事業もまだ実施するかどうかは。トータルサポートの方はまだ決まっています。これは地域間連携ということで、北海道田舎活性化協議会というところで今取りまとめをして、やる方向になるかどうかをこれから協議して、それが決まったら補正を行いたいと考えておりますが、事業が確定したら町長や上に相談して補正予算で対応できるか等の協議に入っていくこととなります。</p> <p>関係人口の方は、原則道からの事業費の中で終わらせたいと考えています。これは、補正予算を伴わないでやりたいということで考えております。</p>
横山会長	<p>わかりました。</p> <p>他委員の皆様から何かございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは3番目の説明につきましては、以上で終了させていただきます。次の4番目、今後についてということでよろしく申し上げます。</p>
小室政策主幹 (概要説明)	<p>次第4 今後について</p> <p>今後についてということですが、まず、職員の異動についてお知らせさせていただきます。</p> <p>平成27年度からこの総合戦略を担当していた森久保主査が、北海道からの派遣が終了ということで、明日を以て終わり、道庁へ戻ることとなります。本庁ですので、札幌へ戻るということになります。</p> <p>それと同時に、森久保主査が計画担当主査となっていたのですが、そのポストがなくなりまして、現在同じグループに政策担当というのがあります。そこに集約される形になります。従いまして、今後担当するのは、政策担当主査と、他2名の担当がこの総合戦略を引き継ぐこととなります。</p> <p>自分は異動しませんので、引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>なお、政策担当の主査は本日来てはいませんが、伊藤と申しまして、担当は長尾という者と、4月から新たに金子という女性が入ります。</p> <p>この総合戦略の担当を誰にするかは、決めている最中でございますので、次回の会議で皆様に紹介させていただきたいと思っております。</p> <p>また、次回の会議についてですが、これも内部で話し合ってから、今までどおり事前に皆さまと日程調整をさせていただきながら進めていきたいと思っております。</p> <p>いずれにいたしましても、部長も変わっておりませんし、私も変わっておりませんので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後についてということで、非常にお世話になりました森久保さんの、期限が残念ながら切れまして、4月から本庁に戻るということで、貴重な人材がまた一名美幌町からいなくなり、大変悲しいところであります。</p> <p>しかしながら、今お話がありましたとおり、今度は政策担当の方で同じようにこの委員会の部分を担うということですので、また引き続き事務局共々、委員の皆さまに色々お世話になろうかと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>また、次回の会議についても未定ということですので、改めて事務局から委員の皆さまへ日程調整をさせていただきながら、次回の会議という形を取りたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>30年度以降、新たに網走信金の新しい支店長も加わりますので、今までと同様に忌憚のないご意見をたくさんいただいて、美幌町を盛り上げていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>最後になりますが、皆さまから何か言い忘れたことなどありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、恒例ではありますが、最後は水島副会長に締めてもらいますので、よろしくお願ひいたします。</p>
水島副会長	<p>はい。委員会の当初からお世話になっております森久保さんには、是非美幌町の良かったところを、嫌なところは言わなくて良いので、札幌に戻ったときにたくさん話していただいて、美幌町をもっと色々な人が知っていただけたらなと思ひます。本当にありがとうございました。</p> <p>皆さま、1時間ばかりの委員会でしたがどうもお疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">了</p>